

1. 平成30年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を育成する科目として、新設
 - ・〔知識及び技能〕について、学習の基盤となる言語能力を支える語彙、話や文章に含まれる情報の扱い方に関する指導事項を改善・充実
 - ・〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において学習過程を一層明確にし、特に自分の考えを形成する学習過程を重視
 - ・「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」に関する指導の改善・充実

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 〔知識及び技能〕に関して、話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解することは相当数の生徒ができています。一方、情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使うことには、課題があると考えられる。
- 「読むこと」の領域において、論理的な文章を読み、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉えることや、自分の考えを深めることに課題があると考えられる。
- 「話すこと・聞くこと」の領域において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、状況に応じて、結論の出し方を工夫することは相当数の生徒ができています。一方、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価することには課題があると考えられる。また、「書くこと」の領域において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え、表現の仕方を工夫することにも課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・話や文章に含まれる情報を、取り出したり活用したりする際に行う整理の仕方やその具体的な手段について理解を深め使う資質・能力の育成
 - ・目的や場面に応じて円滑に話したり聞いたりするコミュニケーション能力の育成
 - ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、文章の構成や展開、表現等を工夫して書く資質・能力の育成
 - ・論理的な文章を読み、内容や構成、論理の展開などについて評価するとともに、自分の考えを深める資質・能力の育成

4. 調査問題例（ペーパーテスト調査）

「話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解すること」の問題例（別紙1参照）

- 実社会でのコミュニケーションを想定した場面で、その場の状況に応じた適切な言い回しができるかを問う問題を出題。

【通過率 88.9%】

「自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え、表現を工夫すること」の問題例（別紙2参照）

- 実社会における課題についてグラフから読み取ったことを根拠とし、その示し方や説明の仕方を考え、表現を工夫することで、自分の考えを的確に伝えることができるかを問う問題を出題。

【通過率 41.4%】

「文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉えること」の問題例（別紙3参照）

- 論理的な文章を読み、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉えることができるかを問う問題を出題。

【通過率 32.1%】

【通過率 88.9%】

「話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解すること」の問題例

国語 「現代の国語」 実社会でのコミュニケーションを想定した場面で、その場の状況に応じた適切な言い回しができるかを問う問題

この問題を解く上では、話し言葉の特徴を理解し、相手や状況に応じた適切な言い回しをする資質・能力が必要となる。ここでは、取引先からの電話であることを踏まえて、尊敬語と謙譲語を使い分け、状況に応じた適切な言葉を選ぶ必要がある。

〈正答例〉
いらっしゃいますか

□ 次に示すのは、山田商事の林さんが、取引先の会社の川上部長あてに電話をかけ、受付の田原さんがその電話をとった場面です。この場面について、あとの①と②の問題に答えなさい。15(16)

① 川上部長につないでもらうためには、林さんは田原さんにどのように話すのがよいですか。空欄に入る適切な言葉を、話し言葉で書きなさい。

「山田商事の林と申します。部長の川上様は（ ）。」

【通過率 32.1%】

「文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉えること」の問題例

国語 「現代の国語」 論理的な文章を読み、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉えることができるかを問う問題

この問題を解く上では、論理的な文章の内容や構成、論理の展開などについて、叙述を基に的確に捉える資質・能力が必要となる。ここでは、「レジリエンス」について書かれた文章の論理展開を捉え、叙述を基に論理の展開をまとめた生徒のノートの一部の内容として適切なものを選ぶことが求められる。

「レジリエンスという考え方」がどのように変遷してきたのか、筆者が考察した部分を読んで、「転換点」にあたる部分として「レジリエンスは、予測不可能な出来事を吸収し、それに適応するように仕組みを創る質的な力と定義された」が適切であると考える必要がある。

人間と環境について調べていた佐藤さんは、回復力や適応力を持つ能力のことを「レジリエンス」と呼ぶことを知りました。そして「レジリエンス」という言葉に興味をもった佐藤さんは、図書館で「レジリエンス」について書かれた書籍を見つけました。次の【文章A】を読んで、あとの(一)と(二)の問題に答えなさい。

本文省略

(一) レジリエンスという言葉の歴史を踏まえて、佐藤さんは「レジリエンス」という考え方についてノートにまとめました。【佐藤さんのノートの一部】

※レジリエンスという考え方
二〇〇〇年以上遡る。ラテン語の Resilire を語源とし rebound(跳ね返る)と解釈されたことにはじまる。

「元に戻る」と「より先に進むこと」などの様々な解釈が加えられた。

◎ 転換点

レジリエンスという考え方は、生態学に留まらず、学問分野を超えて、工学、災害、持続可能性科学、気候変動、医療を含む多様な学問分野におけるレジリエンス関連研究で取り入れられた。

- 1 力学や心理学や人類学といったそれぞれの学問の枠の中に取り入れられ、レジリエンスが分野横断的に理解されるようになった。
- 2 「安定性」(stability)という概念と比較し、レジリエンスには一時的な攪乱の後に均衡状態に戻る性質があることが見いだされた。
- 3 レジリエンスには将来を予測する力がないと気づいた Holling は、レジリエンスを「関係性」を持続させる粘り強さだと表現した。Holling によってレジリエンスは、予測不可能な出来事を吸収し、それに適応するように仕組みを創る質的な力と定義された。
- 5 レジリエンスは「関係性」や「質」といった言葉と関係付けられ、人間の思考方法を説明する言葉として用いられるようになった。

【正答】

4

1. 平成30年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める科目として、新設。
 - ・〔知識及び技能〕について、学習の基盤となる言語能力を支える語彙の指導事項を改善・充実。
 - ・〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において学習過程を一層明確にし、特に自分の考えを形成する学習過程を重視。
 - ・我が国の言語文化に関する指導の改善・充実。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 〔知識及び技能〕に関して、我が国の言語文化に特徴的な語句について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることに課題があると考えられる。
- 「書くこと」の領域において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫しながら書くことに課題があると考えられる。
- 「読むこと」の領域において、文学的な文章を読み、内容などについて叙述を基に的確に捉えることは、相当数の生徒ができている。一方、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことには課題があると考えられる。
- 伝統的な言語文化に親しみ、その特質を理解することに関して、古典作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることに課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・我が国の言語文化に特徴的な語句や表現を理解し、活用する資質・能力の育成
 - ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する資質・能力の育成
 - ・文学作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める資質・能力の育成
 - ・伝統的な言語文化に親しみ、その特質などを理解し、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める資質・能力の育成

4. 調査問題例（ペーパーテスト調査）

「文章の種類を踏まえて、内容などについて叙述を基に的確に捉えること」の問題例（別紙1参照）

- 文学的な文章を読んで、叙述を基に的確に場面を捉えることができるかを問う問題を出題。
【通過率 77.5%】

「我が国の言語文化に特徴的な語句について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること」の問題例（別紙2参照）

- 自分の体験を随筆に書く際に、言語文化に特徴的な語句を理解し、文章の中で活用できるかを問う問題を出題。
【通過率 33.4%】

「作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと」の問題例（別紙3参照）

- 古典作品等に表れている考え方について、自らの体験を重ね合わせながら自分の意見をもつことができるかを問う問題を出題。
【通過率 35.4%】

【通過率 77.5%】

「文章の種類を踏まえて、内容などについて叙述を基に的確に捉えること」の問題例

国語 「言語文化」 文学的な文章を読んで、叙述を基に的確に場面を捉えることができるかを問う問題

この問題を解く上では、時代小説という文章の種類を踏まえて、作品の舞台や設定について、本文の叙述を注意深くかつ丁寧に捉えることで、作品の情景を把握する資質・能力が必要となる。ここでは、登場人物の会話の叙述を丁寧に捉え、作品の舞台である家屋の様子を的確に把握することが求められる。登場人物である「おりょう」の自分の娘への言葉から、舞台である「台所」は「床が張られておらず、土を固めて作った土間になっている」ことを捉え、それに合ったものを適切に選ぶ必要がある。

三 小川さんのグループは、「言語文化」の授業で、北原亜以子きたはらあいこの時代小説「帰り花」に基づいて脚本を作成することになりました。「帰り花」の「一節」を読んで、あとの(一)から(四)の問題に答えなさい。

本文省略

(一) 文章中に、「お手々が泥だらけになってるじゃないか」とありますが、ここから分かる「おりょう」の家の様子について説明した文として、最も適切なものを次の1から5の中から一つ選び、その番号を書きなさい。6)

- 1 台所は土壁でできており、家の中の会話は隣に筒抜けである。
- 2 台所は隣の家と共用で、母屋からは少し離れた場所に設置されている。
- 3 台所は床が張られておらず、土を固めて作った土間になっている。
- 4 台所に食器棚はなく、流し台の横には所狭しと食器類が並べられている。
- 5 台所は昼でも薄暗く、ものが見えにくいため子供には危険な場所である。

【正答】

3

【通過率 33.4%】

「我が国の言語文化に特徴的な語句について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること」の問題例

国語 「言語文化」 自分の体験を随筆に書く際に、言語文化に特徴的な語句を理解し、文章の中で活用できるかを問う問題

この問題を解く上では、語句の意味を単に理解するだけでなく、語句の背景としてもつ事柄や価値に対する理解を深める資質・能力が必要となる。ここでは、「ひとはけ」「ひとなすり」という意味の「一抹」を、「ほんの少し」と理解していることで「一抹の不安」を「かすかな不安」と解釈し、適切な表現で言い換える必要がある。

〈正答例〉

ほんのわずかな、かすかな

□ 山田さんは、「言語文化」の授業で、季節をテーマとした随筆を書くことになり、参考にするために「秋思」という漢詩について調べました。次の【漢詩とその現代語訳】、【山田さんの書いた創作メモ】、【山田さんの書いた随筆の一部】を読んで、あとの()から四の問題に答えなさい。

本文省略

【山田さんの書いた創作メモ】

- タイトル：友人への手紙
- 季節：秋
- 話題：転校した友人への手紙
- 参考：漢詩「秋思」
- 引用する語句：「意万重」・「秋風」・「封」

【山田さんの書いた随筆の一部】

友人への手紙

秋が来るとも寂しい気持ちになる。そのためか、小学校のときに他県に引っ越してしまった友人のことを思い出した。毎日一緒に遊んでいたが、気がつけば離れてから五年の月日が過ぎてしまった。あの頃を思い出すたびに、また会いたい気持ちがツノツてくる。私は手紙を書いてみることにした。書き始めると、部活動での出来事、最近食べたお菓子、共通の友人のことなど、筆が止まらない。

封を閉じた。

こんな内容では、あきれられてしまうのではないか。「一抹の不安を胸に、郵便ポストの近くのベンチに腰かけて、しばらく秋風に吹かれる。封を開けて読み返しても、きっとさらに迷うだけだろう。私は潔く投函した。彼がどう思っているのか気にしながら、今日も返信を待つ。

□ 【山田さんの書いた随筆の一部】にある「一抹の」を、同様の意味になるよう、別の表現で書き改めなさい。

【通過率 35.4%】

「作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと」の問題例

国語 「言語文化」 古典作品等に表れている考え方について、自らの体験を重ね合わせながら自分の意見をもつことができるかを問う問題

この問題を解く上では、古典作品の内容や解釈を踏まえ、関連する近現代の文章などを参照しながら、自分と関係付けて自分のものの見方、感じ方を深めると同時に、自らの体験を伝統的な言語文化の視点から捉える資質・能力が必要となる。ここでは、古典作品とその解説文、及び学習者の会話など、複数の文章の内容を把握し相互に関連付けることで、解釈を深めながら古典作品の表現について自分の体験に関連付けて考えを深めることが求められる。また、波線部にある「虚空」とは、「確固とした信念をもたない主体」を意味していること、「よく物を容る」とは「雑念に惑わされてしまう」ことが示唆されている点に注意し、作品の適切な解釈を基に、作品の内容全体を自らの体験に照らし合わせて記述することが必要である。

〈正答例〉
私には、自分の適性や将来像を十分自覚せず、進路選択の際に周囲の期待や級友の様子、社会的な評価に振り回されてしまった経験がある。「虚空、よく物を容る」というのは、この経験のように、確固とした信念を持たない主体は雑念に惑わされやすいということを示しており、生きていく上での心も持ちようを教えてくれている。

① この文章を授業で読んだ田中さんは、先生と次のような【会話】をしました。この【会話】を読んで、あとの問題に答えなさい。

【会話】

田中 私は「虚空、よく物を容る。」の部分がよく分かりにくいです。

先生 文章にもあったように、この段は「源氏物語」の蓬生の巻で、木摘花の屋敷が荒廃し、あやしげなものがだんだんのさばってくるという部分の描写を踏まえているんだよ。このことは、「虚空、よく物を容る。」の解釈に役立つよ。

田中 そうですね。廃屋にいろいろなものが入り込んでくるということですね。ところで、私は他の解説書で虚空について調べていた時に、西行の言葉とされる次の資料を見つけました。

【資料】(西行の言葉とされるもの)

紅虹たなびけば虚空色どれるに似たり。白口かがやけば虚空明なるに似たり。然れども虚空は本明なる物にも非ず、又色どれる物にも非ず。

先生 この資料の「紅虹たなびけば……虚空明なるに似たり。」の部分は、空には色が無いけれど、虹がかかったり太陽が輝いたりすると、色がついて見えたり明るく見えたりすることだよ。

田中 今まで、空には色が無いので、虹や夕焼けなどで様々な色が付いてきれいだなとばかり思っていました。徒然草や西行の言葉をじっくり読んでみると、人間の心に置き換えたならば、色が無いとか実体がないとかいうことは、必ずしもいいことではないように思えてきました。そのように見えていくと、「虚空」とは、「徒然草」第二百二十五段の冒頭の一段落の中にある

・ (a) ーと同じような存在なのですね。

先生 そのとおりだね。

② 「徒然草」が踏まえている「源氏物語」の内容や、田中さんが探してきた西行の言葉、さらに、田中さんの発言を参考にし、あなたの日常生活での経験を具体例として挙げながら、「虚空、よく物を容る。」について百字以内(句読点を含む)で説明しなさい。19)